

## 2009年度 事業報告

### 概況

幅広く課題を取り上げて会員が研鑽するとともに、会員外にも発表や議論の場を提供することを基本方針に取り組んだ。定期的な活動である学術総会、春季討論集会を開催した他、化学物質管理や生物管理に関する講演会も開催した。学会誌は年度内に3回発行し、合計30件の報文をweb上で公開した。学会ホームページに自由投稿欄「論議の輪」を設け、会員が国内外の情報や動向に関して日頃考えている意見を発表できる場として活用した。

以上の如く実践的で具体的な活動になった。

### I. 特定非営利活動に係る事業報告

#### 1. 学術総会

第6回学術総会を以下のように開催した。

- 1) 日時：2009年10月6日(火) 13:20～19:00
- 2) 会場：東京都千代田区 学術総合センター
- 3) 参加者：68名
- 4) 内容：

##### ①学術発表：5件

「化学物質総合管理に関する活動評価とキャパシティビルディングの課題－2008年度企業活動の評価の概要とセクター間の比較－」

「自然起源放射性物質のガイドライン発効について」

「化審法改正に関する国権最高機関の決議の要点－国際合意の誠実な履行を行政府に要請－」

「放射線のリスク管理－基本的な考え方と今後の課題－」

「ライフサイクルを通じた化学物質管理に向けた枠組み：事業者による化学物質リスク自主管理のためのプラットフォーム構築」

##### ②特別講演：2件

「2009年発生した新型インフルエンザのインパクトと対策」

「内外の化学物質対策の現状と今後の動向」

#### 2. 春季討論集会

春季討論集会(2010)を2010年3月3日、東京都千代田区学術総合センターにて社会技術革新学会と共同で開催した。

参加者：26名

テーマA：交代勤務制を労働科学的に考える ～24時間社会 Yes! or No! ?～

テーマB：化学物質総合管理の活動評価 ～何が課題で、どう活かすか～

テーマC：化審法の改正をどう評価し、どう考えるか

各テーマともに最初に全体会で座長から問題提起を行った後に、分科会に分かれて討論を行った。

討論会の参加者

テーマA	14名
テーマB	4名
テーマC	6名

### 3. 講演会の開催

第6回学術総会（2009年10月6日）に合わせて特別講演会を実施した。

- ・岡部信彦氏（国立感染症研究所 感染症情報センター長）  
「2009年発生した新型インフルエンザのインパクトと対策」
- ・早水輝好氏（環境省 環境保健部 環境安全課長）  
「内外の化学物質対策の現状と今後の動向」

### 4. 学会誌『化学生物総合管理』の発行

- (1) 第5巻第1号(2009年4月発行) 総ページ 116 ページ  
特集1「東京都健康安全センターの活動成果報告シリーズ」：9件  
報文：2件  
特集2「OECD 既存化学物質初期評価シリーズ」：1件
- (2) 第5巻第2号(2009年12月発行) 総ページ 210 ページ  
報文：4件  
特集「OECD 既存化学物質初期評価シリーズ」：2件
- (3) 第6巻第1号(2010年3月発行) 総ページ 125 ページ  
特集「東京都健康安全センターの活動成果報告シリーズ」：11件  
報文：1件

学会ホームページで公開するとともに科学技術振興機構(JST)が運営しているJ-STAGE(電子ジャーナルシステム)に登載した。

### 5. 研究会活動

今年度中の活動実績はなかった。

### 6. 知見の集大成、体系化に関する事業

今年度中の活動実績はなかった。

### 7. 教育・普及・啓発に関する事業

「知の市場」の講座のうち、以下の講座について連携機関になった。

科目名：「化学物質総合評価 1」  
「化学物質総合評価 2a」  
「化学物質総合評価 2b」  
「発がん毒性特論」  
「一般毒性特論」  
「化学物質総合管理 1」  
「農薬総合管理」  
「防疫薬総合管理」  
「食の総合管理特論 2」

また、ホームページ掲載、ニュースレター発信により、講座紹介を行った。

## 8. 講習およびセミナーの開催

今年度中の活動実績はなかった。

## 9. その他

### (1) 意見発表の場の整備（論議の輪）

「ちょっと一言」欄には、10月までに1件投稿があった。

「提言」欄には、10月までに2件の提言があった。

10月に、「ちょっと一言」欄と「提言」欄を統合し、新たな意見投稿欄「論議の輪」を設けた。

新設後の「論議の輪」欄には3件の投稿があった。

尚、「論議の輪投稿掲載細則」も制定した。

## II. 管理・運営に関する報告

### 1. 会員状況

2009年度の会員数の増減は下表のとおり

	2009年 4月1日	入会	退会	2010年 3月31日	実質増減
正会員	59	2	9	52	△7
学生会員	1	0	0	1	±0
賛助会員	4	1	0	5	+1

賛助会員名簿 2010年4月1日現在（入会順、敬称略）

住友化学株式会社

財団法人化学物質評価研究機構

みずほ情報総研株式会社  
三井化学株式会社  
個人1名

## 2. 通常総会（第6回）

開催日時：2009年6月18日(木)

会場：お茶の水女子大学

会員数58名 実出席6名、委任状提出9名、書面表決20名

主要議案・2008年度事業報告および決算報告承認

- ・2009年度事業計画および予算承認
- ・任期満了に伴う理事・監事の選任

その他、自由討議を行った。

## 3. 理事会

1) 第16回理事会 2009年5月19日

主要議案・2008年度決算報告

- ・監査結果を確認
- ・通常総会計画（議案検討）
- ・役員・委員調整

2) 第17回理事会 2009年7月31日

主要議案・理事長選任の件

- ・企画運営委員交替の件
- ※8月1日から新理事体制となった。

3) 第18回理事会 2009年10月20日

主要議案・第6回学術総会実施報告

- ・会計中間報告
- ・ホームページ等での意見発表の取扱いの件

4) 第19回理事会 2010年3月18日

主要議案・春季討論集会実施報告

- ・2010年度活動計画、予算審議
- ・規定類の改定および制定

## 4. 企画運営委員会

第46回から第50回までの5回開催し、学会の運営に関して具体的な施策を企画、立案するとともに業務の推進、調整を行った。

第46回 7月14日 主要議題 ・緊急提言の扱い

- ・企画運営委員の交代
- ・学術総会計画

※8月1日から企画運営委員が変更になった。

第47回 10月20日 主要議題 ・学術総会実施報告  
(理事会と同時開催)

- ・会計報告
- ・HP等での意見発表の取扱
- ・今後の行事計画

第48回 12月15日 主要議題 ・討論集会計画

第49回 1月19日 主要議題 ・討論集会計画

第50回 2月16日 主要議題 ・討論集会計画

- ・規定類の現状と改定必要箇所見直し
- ・2010年度活動計画作成と予算作成方針

## 5. 編集委員会

Eメール臨時編集委員会を活用しながら適宜開催し、学会誌の編集方針や内容構成の検討を行った。また、編集委員をはじめ多くの会員に投稿論文の査読を依頼した。

## 6. 広報活動

### (1) ホームページ

学会のPRツールとして、ホームページを開設しており、適宜更新した。

ホームページへの年間のアクセス件数は2,387件であった。

### (2) ニュースレター配信

No.75からNo.92まで18回配信し、会員宛の連絡ツールとして活用した。(2008年度は19回)

## 7. 規定類の整備

企画運営委員会、理事会で規定類の見直しと必要な規定類の追加が行われた。

(詳細は18～34ページに掲載)

## 8. 運営資金状況

会員にニュースレターで納入依頼を行なったほか、未納者各人宛に納入状況を連絡して督促するなどして、会費の納入を要請した。一方で、有効な企画については内容を充実させる考え方で支出管理を行った。その結果2009年度は収入1,368,403円、支出820,329円となり、当期としては548,074円の余剰となり、次期へ繰り越すこととなった。

以上